

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもみらいサポートあくしす妙法寺		
○保護者評価実施期間	R6年11月1日		R7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	R6年11月1日		R7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・5領域を踏まえたねらいを設定し、集団プログラムを毎日実施している。	・お子様一人ひとりにとって良い経験ができるよう、細やかなサポートを設定し実践しています。	・お子様の現状に合わせた新しいプログラムを取り入れ、お子様が楽しみながら心身の総合的な成長を促せるようなプログラム内容を提供します。
2	・買い物実習やクッキングなどイベントを企画し実施している。	・クッキングや行事イベントを多く取り入れ、将来の自立や就労に向けてさまざまな経験を積めるようにしています。また、異年齢での関わりの中で、年上の友達に助けをもらい、年下の友達に教える機会を作り、思いやりの気持ちを育めるようにしています。	・お子様の現状に合わせたイベントを企画し、お子様が楽しみながら心身の総合的な成長を促せるようなプログラム内容を提供します。
3	・少人数で支援を行い手厚くサポートしている。	・お子様に必要な支援を個別・集団療育どちらからもアプローチしています。	・一人ひとりのお子様が集団生活に必要なスキルを身に付けることができるよう、リトミックやプログラムを通して支援していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・広々とした活動スペースの確保。	・基準を満たしたスペースの確保ができていますが、のびのびと活動する広さの確保ができていません。	・物の配置など工夫をこらして、マンション内にある体育館や公園を利用し、広い空間で支援ができるよう工夫していきます。
2	・地域との交流する機会を設けることができていない。	・事業所内でのプログラムに注力しており、現状としては放課後児童クラブや児童館との交流は行っていません。また、交流会など直接的な交流はお子様の特性などを考えると負担になる可能性も高いので、実施の検討はできていません。	・買い物実習や調理実習、おでかけの実施など、地域の中で活動できるプログラムを通して地域のお子様と交流できる機会を設けられるよう工夫していきます。
3	・保護者同士をつなぐ機会(保護者会)や参観できる機会を設けることができていない。	・ペアレントトレーニングに関しては、家族支援プログラムとしての実施はできていません。送迎時など日々の申し送りの際に、その都度助言やアドバイスを行っています。また、共働きのご家庭が多いので、日程の調整も難しいと判断しています。	・保護者の方同士でつながりを持てるよう保護者会や研修会等のイベントを企画していきます。